

チーム市川

動いちゃうんです! ~災害を学び, 災害に備える都市~

構成員	市川 拓真	横浜国立大学大学院 都市イノベーション学府 都市地域社会専攻
	松本 亜里紗	横浜国立大学大学院 都市イノベーション学府 都市地域社会専攻
	梶原 和博	横浜国立大学 理工学部 建築都市・環境系学科都市基盤 EP
	富吉 俊介	横浜国立大学 理工学部 建築都市・環境系学科都市基盤 EP
	山本 紗穂里	横浜国立大学 理工学部 建築都市・環境系学科都市基盤 EP



市川 拓真



松本 亜里紗



梶原 和博



富吉 俊介



山本 紗穂里

概要:

私たちが実現したい未来は、人々の防災への意識と土木の技術を合わせることで完成する、災害に対して「安心で安全な社会」です。

コンテストに参加するにあたって「自分たちが実現したい未来」とは何かを考えたときに、私たちは日本を脅かす自然災害の存在に思い当りました。日本に住む上で自然災害は切っても切れない存在です。2013年における体感できる地震の発生回数は2300回を超え、震度4以上のものでも60回以上発生しました。アメダスが観測する短時間豪雨の発生回数は年々増加しており、2014年8月には豪雨に伴う大規模な土砂災害が広島県で発生しました。このような自然災害の多い日本で生活する私たちにとって、「自分たちが実現したい未来」は「安心で安全な社会」で暮らしていけることではないかと考えました。

そこで、私たちが提案する都市では、街中に用意されたソフト面の防災に触れることで人々は災害を学ぶことができ、人々そして都市そのものも災害に備えることができるようにとハード面の防災が都市には施されています。わたしたちはソフト・ハード両方の防災を持ち合わせた、災害を学び、災害に備えることのできる「安心で安全な社会」を実現する未来構想案として、この「動いちゃうんです! ~災害を学び, 災害に備える都市~」を提案します。

Noah's Arc System —「想定外」を無くす発想—

通常時



津波時



未曾有の規模の津波に対して、都市全体が浮上することで津波被害を防ぎます。超高強度コンクリートを用いた中空構造を採用し、水より小さな比重を実現しました。

まるで「ノア方舟」のように想定外の災害を確実に乗り越えていきます。

非日常 Trip

—体感する災害の恐怖—

最新のAV技術を利用し、起こりうる災害の疑似体験を市民に提供します。スマートフォン等の身近な機器を利用して、場所を問わず災害を立体的に再現することができます。

災害時の現象を正しく理解することで災害による被害低減に貢献します。



安心安全な社会

学ぶ

安全だと感じる(安心)ための教育活動

備える

安全を実現するためのハード整備



Dynamic Defender

—綺麗な海が好きになるコンクリート構造物—

地域住民を確実に津波から守り、海のある生活を住民から奪わない。普段は地下に収納されているため親水性が高い構造物ですが、津波時には堤防部が地中から隆起し津波から人々を守ります。

Enjoint!! —壁の向こうへ—

建設現場を大体的に一般に公開しましょう。従来とは一線を画した、透明感のある親しみやすい現場が実現されます。工事の内容をわかりやすく表示したり、親しみやすいデザインを用いることで、土木技術への関心を大人から子供まで広く誘います。

生活を支える社会基盤施設の機能と役割を正しく理解することで、さらなる安心を市民にもたらします。次世代の技術者も、ここから生まれるでしょう。

